

早稲田大学高等学院  
早稲田大学高等学院中学部  
SCHOOL GUIDE 2017



# ここから、 早稲田人

早稲田大学高等学院は、早稲田大学建学理念に基づき設置された学校であり  
卒業生全員に、早稲田大学へと進む道が約束されています。

つまりここには、受験にとらわれない“学びの自由”があります。

自らの探究心に沿って、勉強やクラブ活動に思う存分に打ち込みながら、  
それぞれが思い描く未来への道を切りひらいて行くことができます。

ようこそ高等学院へ。ここからあなたも、早稲田<sup>わせだじん</sup>人の一人です。

## Contents

- 2 学院長メッセージ
- 3 早稲田大学への進学  
早稲田大学・高等学院史
- 4 早稲田大学高等学院
- 6 教育内容
- 8 スーパーグローバル  
ハイスクール (SGH)
- 10 研究活動の奨励
- 11 教員からのメッセージ
- 12 学院ライフを自分色に
- 14 主要学校行事  
さまざまな活動
- 16 クラブ活動
- 18 入試概要
- 19 統計／学費／奨学金制度
- 20 早稲田大学高等学院中部  
教育の主旨
- 22 教育内容
- 24 主要学校行事  
宿泊研修・学習発表会  
校外学習
- 26 クラブ活動
- 27 入試概要／統計／学費
- 28 キャンパスマップ



## 早稲田大学教旨 (大正2年/昭和24年改訂)

早稲田大学は学問の独立を全うし学問の活用を効し  
 模範国民を造就するを以て建学の本旨と為す  
 早稲田大学は学問の独立を本旨と為すを以て  
 之が自由討究を主とし 常に独創の研鑽に力め以て  
 世界の学問に裨補せん事を期す  
 早稲田大学は学問の活用を本旨と為すを以て  
 学理を学理として研究すると共に之を實際に応用するの道を講し以て  
 時世の進運に資せん事を期す  
 早稲田大学は模範国民の造就を本旨と為すを以て 個性を尊重し  
 身家を発達し国家社会を利済し  
 併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す



## 高等学院教育目的 (昭和24年)

本学院は、早稲田大学建学の精神に基づき、中学校における教育の基礎の上に高等普通教育を施し、一般的教養を高め、健全な批判力を養い、国家及び社会の形成者として有為な人材を養成するとともに、更に進んで深く専門の学芸を研究するに必要な資質を育成することを目的とする。



## 高等学院中学部教育目的 (平成21年)

本学院中学部は、早稲田大学建学の精神に基づき、初等教育の基礎の上に高等学院、大学各学部へつながる前期中等教育を施し、健やかな心身、高い知性、豊かな感性を育み、社会に有為な人材を育成することを目的とする。



### 早稲田大学創設者 大隈 重信

1838年肥前藩(現在の佐賀県)に生まれる。中央政府に参画し、明治14年の政変で野に下った後、立憲改進黨を組織。2度にわたり首相となる。『報知新聞』『新日本』『大観』などを創刊、該博な知識と壮大な理想、自由闊達な人柄で広く民衆の人気を集める。1922年没。



## 早稲田大学校歌

坪内逍遙/校閱 相馬御風/作詞 東儀鉄笛/作曲

- 一 都の西北 早稲田の森に 聳ゆる巒は われらが母校  
 われらが日ごろの 抱負を知るや 進取の精神 学の独立  
 現世を忘れぬ 久遠の理想 かがやくわれらが 行手を見よや  
 わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ
- 二 東西古今の 文化のうしほ 一つに渦巻く 大島国の  
 大なる使命を 担ひて立てる われらが行手は 窮り知らず  
 やがても久遠の 理想の影は あまねく天下に 輝き布かん  
 わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ
- 三 あれ見よかしこの 常磐の森は 心のふるさと われらが母校  
 集り散じて 人は変れど 仰ぐは同じき 理想の光  
 いざ声そろへて 空もとどろに われらが母校の 名をばたたへん  
 わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ





# Step

## 歴史と伝統

### 学院長メッセージ

## エラーからトライへ

—寛容な環境とアカデミックな探究心が挑戦を生む—

多感でエネルギーにあふれ、未知の可能性に恵まれた青春期の若者が、直接顔を合わせて集う早稲田の杜。しかも、受験によって枠づけられてしまう状況と決定的に異なる大学附属校という環境。さらに、早稲田大学教旨にいう「学問の独立」、すなわち何もをもおそれない「自由討究」によって、世界の人々とともに「真理」を追究し世界の平和に貢献する、という学風と伝統を有する早稲田大学と一体の空間と時間。これが皆さんの学び舎になります。

この時間と空間、同世代の集いのなかで、何をしますか？何をすべきですか？それは、挑戦です、トライすることです。挑戦し打ち込んでみることです。早稲田大学教旨にいう「学問の活用」、すなわち実践のあるところに真理探究もあるのです。知識を獲得することは、それを単に脳のひだに納めておくことではありません。何かを生み出し、世の中に活かし、変える何かを生み出すこと、これが「学問の活用」であり実践です。皆さんの挑戦を待つ問題は、世界に充ち満ちています。社会の問題、科学の問題、文化の問題、自然の問題、身近な人間の問題等々未だ答えのない問題が、皆さんの知的活動に裏打ちされた挑戦を待っています。社会的な実践を伴う挑戦だけを指しているわけではありません。未解決の問題に知的に挑戦することこそが、本質とすることができます。

同世代が集うことの意味もここにあります。ペクトルを異にする様々な能力、持ち味、問題意識、個性が切磋琢磨する場、仲間の異質さと優秀さに刺激され、それを認め、別な面での己の異質さと優秀さを育て発揮し認め合う、このような開放的な多様性、多様な個性の挑戦が顕現する場、これこそが早稲田大学高等学院のあり方です。

学院長

本杉 秀穂

Motosugi Hideho



学校は皆さんの挑戦をサポートしていきます。一つは、皆さんの未知なる問題への挑戦を、伝統的な早稲田の学風—自由—がサポートします。これは、「寛容」と言い換えても良いでしょう。答えの未だ明らかでない問題への挑戦は、リスクを伴うものです。失敗、エラーの危険と裏腹のもので、失敗が許されない環境では、挑戦も許されません。リスク・テイクする自覚が、責任意識も自律の精神も生み出します。私たちは、自由の学風に裏打ちされた寛容をもって、皆さんの挑戦をサポートします。そして、エラーから学んでより大きな挑戦に進む、タフに挑戦し続ける皆さんを応援します。

二つは、アカデミックなサポートです。高等学院では、未知の学問的な問題を熱心に探究している研究心を有する教員が教鞭を執っています。アカデミックに問題を探究する挑戦をしているという点で、皆さんと共通項を持っているのです。深い教養、鋭い研究心と能力が育成される環境、これが、皆さんの挑戦をより意味あるものにする助けになるでしょう。

皆さんが、学び、学びを世の中に活かし、変える何かを生み出すに材料となるものを獲得してもらえるように、高等学院は努めています。

後のページに、学院生がいかに学びの場を身近から世界にまで広げ、知的な活動に裏打ちされた挑戦をしているか、また、学校のサポートがいかなるものか、語られています。とはいえ、早稲田大学高等学院も時代の新しい変化の中で、新たな挑戦、自己変革の挑戦のただ中にあります。皆さんが、その変革と挑戦とともに挑んでくれることも期待しています。学び、挑戦しましょう。エラーをおそれることなく、アカデミックな探究心をもって果敢なトライへ。



# into the future

あるキャンパスから、未来へと羽ばたく。

## 早稲田大学・高等学院史

- 明治15年(1882) 大隈重信による本大学の前身「東京専門学校」創設  
政治経済学科、法律学科、理学科、英学科の4学科を設置
- 23年(1890) 文学科を増設
- 31年(1898) 第一次大隈内閣発足
- 33年(1900) 初の海外留学生(2名)を派遣
- 35年(1902) 早稲田大学と改称、政治経済学科、法学科、文学科を置く
- 36年(1903) 高等師範部を新設、早慶野球戦開始
- 37年(1904) 「専門学校令」による大学となる。商科を増設
- 40年(1907) 校歌制定
- 41年(1908) 高等予科の授業を開始
- 42年(1909) 理工科を増設
- 大正 3年(1914) 第二次大隈内閣発足
- 9年(1920) 「大学令」による大学となり、政治経済学部、法学部、文学部、商学部、理工学部が発足  
旧制早稲田大学早稲田高等学院を設置
- 昭和 2年(1927) 大隈記念大講堂落成
- 24年(1949) 新制早稲田大学11学部(第一・二政治経済学部、第一・二法学部、第一・二文学部、教育学部、第一・二商学部、第一・二理工学部)設置/  
新制早稲田大学附属早稲田高等学院開校
- 25年(1950) 早稲田大学附属早稲田高等学院を早稲田大学高等学院に改称
- 26年(1951) 新制早稲田大学大学院6研究科(修士課程)設置
- 28年(1953) 新制早稲田大学大学院6研究科(博士課程)設置
- 31年(1956) 高等学院 練馬区上石神井に移転
- 41年(1966) 社会科学部設置
- 43年(1968) 第二理工学部廃止、第一理工学部を理工学部を改称
- 48年(1973) 第一政治経済学部新聞学科および自治行政学科、第二政治経済学部、第二法学部、第二商学部を廃止第一政治経済学部を政治経済学部に、第一法学部を法学部に、第一商学部を商学部に改称
- 54年(1979) 新制高等学院設立30周年記念式典
- 57年(1982) 創立100周年記念式典、本庄高等学院開校
- 62年(1987) 人間科学部設置
- 平成 2年(1990) 大学院教育学研究科設置
- 3年(1991) 大学院人間科学研究科設置
- 6年(1994) 大学院社会科学部研究科設置  
総合芸術情報センター開館
- 7年(1995) 理工学総合研究センター開館
- 9年(1997) アジア太平洋研究センター設置
- 10年(1998) 大学院アジア大洋州研究科設置
- 11年(1999) 新制高等学院設立50周年記念式典
- 12年(2000) 大学院国際情報通新研究科設置
- 13年(2001) 大学院日本語教育研究科設置
- 15年(2003) スポーツ科学部設置/大学院情報生産システム研究科設置/大学院公共経営研究科設置/川口芸術学校開校
- 16年(2004) 国際教養学部設置/大学院法務研究科設置/大学院ファイナンス研究科設置
- 17年(2005) 大学院会計研究科設置
- 18年(2006) 大学院スポーツ科学研究科設置
- 19年(2007) 創立125周年記念式典、本庄高等学院共学化/第一・第二文学部を文化構想学部・文学部に、理工学部を基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部に改組/理工学研究科を基幹理工学研究科・創造理工学研究科・先進理工学研究科に改組/大学院環境・エネルギー研究科設置
- 20年(2008) 大学院教職研究科設置
- 22年(2010) 早稲田大学高等学院中学部開設
- 25年(2013) 大学院国際コミュニケーション研究科設置/グローバルエデュケーションセンター設置
- 28年(2016) 大学院経営管理研究科設置

## 早稲田大学への進学

2016年3月卒業生

学部・学科等	進学者数
<b>政治経済学部</b>	110
政治学科	38
経済学科	47
国際政治経済学科	25
<b>法学部</b>	85
<b>文化構想学部</b>	11
<b>文学部</b>	13
<b>教育学部</b>	10
教育学科教育学専修	1
教育学科生涯教育学専修	0
教育学科教育心理学専修	1
教育学科初等教育学専攻	1
国語国文学科	0
英語英文学科	1
社会科地理歴史専修	1
社会科社会科学専修	1
理学科生物学専修	2
理学科地球科学専修	0
数学科	2
複合文化学科	0
<b>商学部</b>	45
<b>基幹理工学部</b>	45
学系Ⅰ 数学科	0
学系Ⅰ 応用数理学科	0
学系Ⅱ 応用数理学科	0
学系Ⅱ 機械科学・航空学科	0
学系Ⅱ 電子物理システム学科	27
学系Ⅱ 情報理工学科	0
学系Ⅱ 情報通信学科	0
学系Ⅲ 情報理工学科	0
学系Ⅲ 情報通信学科	18
学系Ⅲ 表現工学科	0

学部・学科等	進学者数
<b>創造理工学部</b>	47
建築学科	9
総合機械工学科	14
経営システム工学科	16
社会環境工学科	4
環境資源工学科	4
<b>先進理工学部</b>	42
物理学科	1
応用物理学科	6
化学・生命化学科	1
応用化学科	6
生命医科学科	6
電気・情報生命工学科	22
<b>社会科学部</b>	27
<b>人間科学部</b>	0
人間環境科学科	0
健康福祉科学科	0
人間情報科学科	0
<b>スポーツ科学部</b>	0
<b>国際教養学部</b>	9

合計 444



# それぞれの 思い描く未来へ

高等学院では、高・大一貫教育のもとに、健康と知性の育成、豊かな人間形成を目指しています。

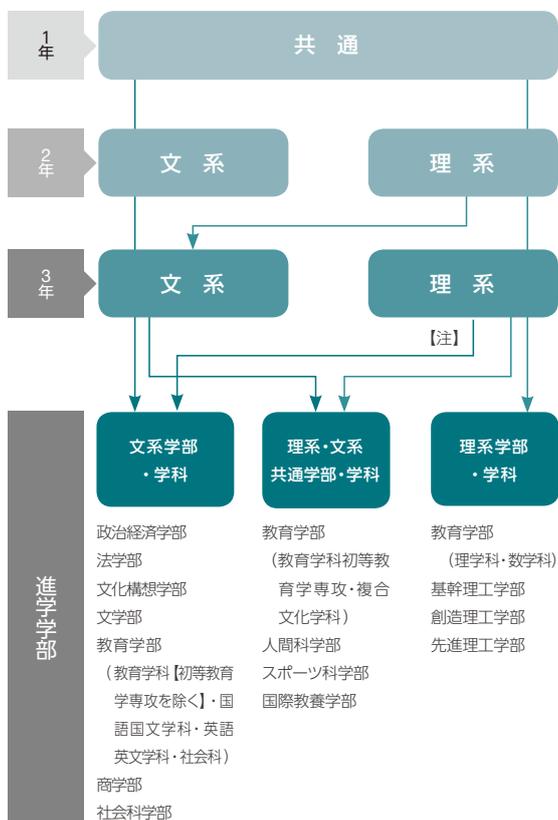
学院生には、将来、早稲田大学へ進学し、深く専門の学芸を研究するために必要な資質としての知的好奇心や知的探究心が求められており、そのために、独自の教育課程を編成しています。



## 早稲田大学高等学院

Waseda University Senior High School

### 2年次からの ゆるやかな文・理コース制



【注】 所定の条件を満たせば、理系コースから文系学部・学科へ進学することができる。

### 教育課程 (2016年度入学者用) 週6日制

教科	1年次・科目	単位	2年次・科目	単位
国語	国語総合 現代文	2	現代文B (前)	2
	国語総合 古典	2	古典B (前)	2
地理歴史	世界史A	2		
公民	倫理	2		
数学	数学I	3	数学II (a)	2
	数学A	2	数学II (b)	2
理科	物理基礎	2	生物基礎	2
	化学基礎	2	地学基礎	2
保健体育	体育	2	体育	2
	保健	1	保健	1
外国語	コミュニケーション英語I (a)	2	コミュニケーション英語II (a)	2
	コミュニケーション英語I (b)	1	コミュニケーション英語II (b)	1
	英語表現I	2	英語表現II (前)	2
	ドイツ語I・フランス語I・ロシア語I・中国語I	3*	ドイツ語II・フランス語II・ロシア語II・中国語II	3*
家庭	家庭基礎	2		
情報	社会と情報 (前)	1	社会と情報 (後)	1
芸術	音楽I・美術I・書道I	2*		
選択科目			文理コース別選択	8
総合的な学習の時間			総合的な学習の時間	1
ホームルーム		1		1
合計		34		34



\*印は1科目選択

3年次・科目	単位
現代文B (後)	2
古典B (後)	1
政治・経済	2
体育	3
コミュニケーション英語Ⅲ (a)	1
コミュニケーション英語Ⅲ (b)	2
英語表現Ⅱ (後)	2
ドイツ語Ⅲ・フランス語Ⅲ・ロシア語Ⅲ・中国語Ⅲ	2*
文理コース別選択	11
自由選択科目	2*
大学準備講座	2*
総合的な学習の時間	1
	1
	32

### 2・3年次選択科目

高等学院を卒業した生徒は早稲田大学の各学部へ進み、それぞれ専門の分野を修めていくことになります。選択科目は、そうした将来に向けて生徒自身が学問に対する探究意欲を持ち、自己の適性や興味を考えながら深く幅広い学力を身に付けることができるように、2・3年次に設置されています。

#### 文・理コース別選択科目

\*印は1科目選択

2年次 (計8単位)			
文 系		理 系	
科 目	単 位	科 目	単 位
日本史B (a)	2	物理 (前)	2
日本史B (b)	2	化学 (前)	2
地理 A	2	数学B	2
現代文A・学校設定科目 英語応用	2*	日本史A	2

3年次 (計11単位)			
文 系		理 系	
科 目	単 位	科 目	単 位
世界史B・地理B	3*	数学Ⅲ (b)	2
数学Ⅲ (a)	3	数学Ⅲ (c)	2
古典A	2	物理 (後)	2
第二外国語Ⅳ	2	化学 (後)	2
学校設定科目 国語表現演習	1	学校設定科目 生物学通論	2
		学校設定科目 物理応用	1

### 生活時間 (通年)

第1時限	8:40 ~ 9:30
第2時限	9:40 ~ 10:30
第3時限	10:40 ~ 11:30
第4時限	11:40 ~ 12:30
(昼休み)	12:30 ~ 13:10
第5時限	13:10 ~ 14:00
第6時限	14:10 ~ 15:00
クラブ活動	4 ~ 9月 ~ 18:00* 10 ~ 3月 ~ 17:00*

\*クラブ活動は申請により1時間の延長が認められます。  
\*土曜日は第4時限までとなります。



## ■ 特色のある選択科目

### 大学準備講座と自由選択科目

高等学院では、2・3年次の「文・理コース別選択科目」の他に、特色のある選択科目を設置し、高校の学習内容にとどまらない授業を展開しています。それが3年次において履修する「大学準備講座」および「自由選択科目」です。その中には、学部生に交じって大学で講義を受ける授業や、大学教員が学院に来て講義を行う授業も含まれています。生徒は学部への進学をイメージしながら、それぞれの興味と関心をもとに、学びたい授業をそれぞれ1科目履修します。

#### 大学準備講座一覧 (2016年度開講)

国語	論文のための文章講座 / プレゼンテーション・セミナー
地歴	現代世界の諸問題 / 現代史特論
公民	法学特論 / 経済学・政治学特論 / ビジネス入門
数学	理工線形代数 / 基礎数学
理科	理工学特論 / 現代の生命科学 / 数理物理 / 基礎物理 / 化学1 / エネルギー・環境概論

芸術・家庭	建築素描
英語	TOEFL-TOEIC 演習 / English Conversation / 基礎英語
第二外国語	グローバルに活躍するためのフランス語 / ドイツ語演習 / 中国語演習
学校設定	経済系の数学リテラシー

#### 自由選択科目一覧 (2016年度開講)

国語	文学!?! / 演劇ワークショップ
地歴	キリスト教の歴史 / 災禍と再生の都市～江戸、ロンドン、東京～
公民	国際社会学 / 思想研究
数学	解析数論入門 / 「数」の基礎
理科	人間生活における科学と技術 / 実験で学ぶ生物学 / 理工系のためのプログラミング入門 / 化学2 / 応用地球科学

保体	バスケットボール / サッカー / トレーニング理論及び実技
芸術・家庭	音楽 / 美術・工芸 / 食品科学 / 書～古典臨書から自己表現の追求へ～
英語	Advanced Reading and Writing
第二外国語	初心者のためのフランス語・フランス文化 / ロシア語日常会話 / ドイツ語会話 / 中国語会話
学校設定	統計学入門

## ■ 第二外国語の必修

高等学院では、「ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語」を選択必修科目としています。4つの言語の中から1つの言語を入学時に選択し、全員が3年間、その言語を学びます。高等学院在学中に、各言語の検定試験を受検する生徒も大勢いる他、ドイツ語履修者を対象にした「ドイツ政府高校生招聘事業」への参加、フランス語履修者による「フランス語スケッチコンクール」への出場など、幅広い場面で学習活動を行っています。早稲田大学への進学後は、高等学院で履修した言語と同じ言語を履修すれば、学部によっては中級クラスに入り、さらにレベルの高い学習を続けることもできます。また、言語によっては海外名門大学とのダブルディグリープログラムに参加し、学位を取得する機会もあります。



フランス語の授業



ドイツ語の授業



ロシア語の授業



中国語の授業

## ■ コンピュータによる情報教育の徹底

高等学院では、早稲田大学のネットワーク環境を利用できるWaseda IDを全生徒が取得しています。授業においては、教科「情報」やコンピュータ関連の選択科目ではもちろん、「総合的な学習の時間」におけるプレゼンテーションや卒業論文作成においてもコンピュータを活用しています。また、放課後や昼休みにはコンピュータ教室を開放し、レポートや課題の作成、メールでの課題提出など、さまざまな場面においてコンピュータやネットワークを利用する機会を設けています。



## 「総合的な学習の時間」の活用

「少子高齢化社会」や「高度情報化社会」の到来は、わたしたちの生活をどのように変えていくのでしょうか。また「エネルギー問題」や「食料問題」を解決する手立てはあるのでしょうか。

これからの私たちはこれまで経験していない様々な「問い」に直面することになります。そこでは自ら「問題を発見」して物事の本質をとらえ、必要な「情報を収集・分析」して「思考」し、仮説を立てていく力が求められることとなります。さらには、自分の考えを「発表」し、他者と「議論」することで自分の「思考」を深めていく力も必要となるでしょう。こうしたいくつもの「力」を身につけ、いわば不透明な時代を主体的に切り拓いていく人材の育成を目標に、高等学院では「総合的な学習の時間」を活用しています。



### 「総合的な学習の時間」の授業内容

2年次は、4クラスから約5名の生徒が集まり、約20名でひとつのクラスを作ります。ここでは、アンケート資料の分析を通して問題を発見し、仮説を立て、様々な資料を用いてその仮説が正しいのかを論証していきます。そしてその過程を、パワーポイントを使ったプレゼンテーションによって他者と共有、議論し、問題を深めていきます。また、深めた問題を小論文にまとめ、相互に批評する作業も行います。

3年次には、卒業論文の執筆に取り組みます。卒業論文は最低12,000字程度を目安として、各自が興味を持つ問題からテーマを設定し、ひとりの教員がおよそ10名の生徒を指導するゼミ形式で授業は進められます。他クラスと合同の中間報告会や、これから卒業論文に取り組む2年生を対象とした、卒業論文発表会なども行います。

これらの取り組みを通じて、プレゼンテーション技術の習得や、論文執筆技法の習得はもちろん、これからの時代を生き抜くために必要な力を身につけるのです。

### 優秀論文の題目一覧

『早稲田大学高等学院 論文・作品集 (2015年度)』に掲載された卒業論文の題目です。

- ・オーストラリアにおける日本史教育の現状とその特徴
- ・武田泰淳の感性的滅亡体験論—「滅亡について」論—
- ・情報化社会における日本のマスメディア—癒着問題及び海外メディアとの比較検討—
- ・ブラック企業と労働法—伝統的な日本的雇用慣行とこれからの展望—
- ・翼の失速現象の解明と自作風洞によるビジュアル化
- ・クラド二図形
- ・タマリジンコの密度効果について
- ・小型節足動物が材質の異なる壁を登る能力について—節足動物の生態に関連して—



## 「高大一貫教育の推進

### 学部進学説明会

基幹・創造・先進の理工3学部では、西早稲田キャンパスで、毎年6月に学部教員による学部説明会が開催されます。また9月には各学部（理工3学部以外）から教員を招いて、高等学院で、学部説明会を開催します。いずれも生徒・保護者が対象です。生徒にとっては自身の進路を考える機会であるとともに、早稲田大学について知る機会にもなっています。

### モデル講義

毎年5月に3年生を対象にして、早稲田大学の各キャンパスで実施されます。進学を希望する学部への理解を深めるとともに、学部進学への動機付けとして重要な役割を担っています。

### 大学教員による授業

3年生が履修する大学準備講座や自由選択科目には「理工学特論」や「文学!？」のように、大学教員が中心となって授業を行う科目が設置されています。それぞれの分野における最先端の知見を得ることができる授業です。

### 大学正規授業の履修

早稲田大学グローバルエデュケーションセンターの設置科目には、高校生の聴講が認められている科目があります。毎年100名近くの学院生が、この制度を利用して大学正規授業を履修しています。なお、修得単位は、先取り単位として、学部進学後に認定されるものもあります。

### 学部生・大学院生と学院生との懇談会

高等学院OBの学部生・大学院生を中心に、各学部における大学生活や研究活動について学院生と懇談する機会を設けています。学院生にとっては、数年先の将来像をイメージするのに大いに役立っています。

### その他

法学部の教員と連携して「模擬裁判」を毎年実施しています。また卒業論文作成において大学の実験施設を利用することや、大学教員から指導や助言を受けることもあります。



大学でのモデル講義



大学教員による課外授業

## スーパーグローバルハイスクール(SGH)

### 多文化共生社会を創造する

# グローバルリーダー育成プログラム

文部科学省より、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を目的とするスーパーグローバルハイスクール(SGH)事業に、高等学院の「多文化共生社会を創造するグローバルリーダー育成プログラム」が指定されています。

高等学院では、「多文化社会のなかで、自己の主張をしながら集団的意思決定に関与しつつも、その結果にかかわらずその集団に継続的に関与し続ける態度」を持つ人物を、グローバルリーダーと位置づけます。それは自己の主張をする責任ある人物であると同時に、価値の多様化した社会において異なる意見を持つ他者と共生しようとする、平和的秩序の愛好家です。

多文化社会に必要な力は、多文化社会でしか手に入らない。学びの環境自体が他者と出会える多文化社会となることで、そこに必要な力が養われていく。それが高等学院のSGHプログラムの理念です。

高等学院のSGHプログラムは全生徒に開かれ、教科、課外活動、そして日常的な学習環境のなかで、深い知見を獲得する機会が用意されています。課外活動では、8月に国内外でフィールドワークを実施。また、11月にはSGHウィークを開催し、最終日の学芸発表会でSGHの成果発表を行っています。



SGHプロジェクト説明会



SGH成果発表会での基調講演



ロシアからの高校生との交流 (SGHウィーク)

### グローバルリーダーを育てる環境づくり



### 多文化共生空間の創造・維持・発展

教科内の取組    環境づくりと機会設定    課外プロジェクト活動

学校法人早稲田大学 早稲田大学高等学院 平成26年度スーパーグローバルハイスクール構想調書より

### 国内外のフィールドワーク

#### 国内

対馬・北部九州フィールドワーク、沖縄フィールドワーク、弘前フィールドワーク等

#### 国外

オーストラリアフィールドワーク等

### SGHウィーク

- フランス人留学生との交流会
- EUに関する講演会
- ロシア日本語履修高校生徒の交流
- トーゴ共和国駐日臨時代理大使を招いてのディスカッション
- 「ドイツ国際平和村の歴史と活動を知る」をテーマに講演会
- 学芸発表会においてSGH 成果発表会の実施

## 留学と国際交流

高等学院では短期、長期の多彩な留学・研修プログラムを利用することができます。2017年度からは、所定の条件を満たす場合に、年間留学をしても最短3年間で卒業可能な制度も導入されます。費用負担の少ないプログラムもあり、内容、期間等も含め、自分に合ったチャンスを見つけられます。留学生の派遣・受入のみならず、交流協定校、その他機関・団体からの訪問者との国際交流を積極的に推進し、グローバル社会に対応できる生徒の育成に力を入れています。

### 2015年度の主な国際交流活動

#### 派遣・留学先

8月	アメリカへ生徒1名が留学（2週間） ガーナへ生徒1名が留学（3週間） SGHフィールドワークへ生徒8名を派遣（オーストラリア11日間） PASCH高校生ドイツ滞在プログラムへ生徒2名派遣（ドイツ・20日間） PASCH「アジアドイツ語キャンプ」へ生徒1名派遣（タイ・1週間） ドイツ政府高校生招聘事業へ生徒1名を派遣（ドイツ・1か月間）
9月	アメリカへ生徒8名が留学（1年間） イギリスへ生徒1名が留学（1年間）
12月	タイ日本学生科学フェアに生徒3名を派遣（タイ・6日間）
3月	ニュージーランドへ生徒1名が留学（1年間） 日露青年交流事業短期派遣へ生徒2名を派遣（ロシア・1週間） 北京大学附属高級中学へ生徒24名を派遣（中国・10日間） 日仏高等学校ネットワーク（コリブリ）へ生徒4名派遣（フランス、ニューカレドニア・3週間） SSH研究発表会へ生徒4名を派遣（台湾・3日間）

#### 受入

4月	タイからの生徒1名を受入（1年間） デンマークからの生徒1名を受入（1年間） 建国高級中学（台湾）の生徒30名・教員2名が来校
6月	アメリカから生徒1名が来校
10月	フランスからの交換留学生3名を受入（3週間）
11月	ロシアから生徒25名・教員6名が来校 中国高校生訪日団（生徒30名・教員2名）が来校
12月	ロンドン大学、北京師範大学、高麗大学の大学院生（合計28名）が来校
1月	韓国ハナ高校からの交換留学生2名を受入（2週間） 韓国ハナ高校からの教員6名が来校 韓国テグ高校からの教員11名が来校

#### 学術交流協定締結校・機関

2009年	ドイツ	ゲーテ・インスティトゥート（PASCHプログラム）
同年	台湾	国立政治大学附属高級中学校
2010年	韓国	ハナ高等学校
2011年	フランス	日仏高等学校ネットワーク（コリブリ）
2012年	中国	孔子課堂
2013年	オーストラリア	ザビエル・カレッジ
2014年	ロシア	サンクトペテルブルグ国立第583番中学校
2015年	オーストラリア	セントポールカトリックカレッジ マンリー校



サンクトペテルブルグ国立第583番中学校との調印式



孔子課堂設立セレモニー



東芝地球未来会議



ハナ国際シンポジウム



日仏高等学校ネットワーク（コリブリ）交換留学

# 研究活動の奨励

高等学院では、生徒が各自の興味や関心に沿った研究活動を行うことを奨励しています。

研究テーマ選びから、研究計画の立案、実行までを主体的に進めることで、生徒自らが問題を発見し、その解決に取り組む姿勢を身につけていきます。「高等学院同窓会学術研究奨励金」をはじめ、研究活動をサポートする仕組みも整っています。

## 理数系教育の充実

高等学院は、科学技術や理科・数学教育を重点的に行う文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) として、過去10年間にわたり幅広い取り組みを展開してきました。その間に蓄積されたノウハウを基に、カリキュラムやプロジェクトをさらに充実させ、継続して理数系教育

の強化を図っています。課題研究に取り組む生徒や、科学技術オリンピックに挑戦する生徒へのサポートに注力するほか、スーパーサイエンスカンファレンスも開催します。



### 科学コンテスト・学会発表の受賞歴

2006年 日本地質学会 優秀賞

2008年 日本水産学会春季大会 最優秀賞

2010年 第54回日本学生科学賞東京都大会 最優秀賞

2013年 SKYSEF2013 (21世紀の中学生による国際科学技術フォーラム) 環境部門 第1位

2014年 日本物理学会ジュニア部門 審査員特別賞

2014年 化学グランプリ本選 銅賞

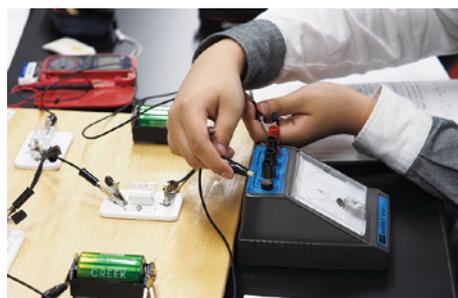
2015年 生物学オリンピック本選 銅賞

## 高等学院同窓会学術研究奨励金制度による支援

高等学院では、生徒の主体的な研究活動をサポートするために、同窓会の支援により「高等学院同窓会学術研究奨励金」制度を設けています。生徒自身が研究計画を立てて応募し、奨励研究として採択されれば、研究にかかった費用の一部が補助される制度です。

### 2015年度採択された研究課題 (抜粋)

- C透明骨格標本を硬化性樹脂へと封入する方法に関する研究
- 赤外線リモコンでのデータ送受信の研究
- 自然環境から見た原子力発電所の立地についての研究
- ノコギリクワガタの幼虫期生育環境が成虫の体長に及ぼす影響についての研究
- 缶サットと簡易ロケットに関連する装置開発の研究
- シャープペンの研究
- 漁獲量が多く食料資源として有用なカイセイ魚類の行動パターンに関する研究
- 位置情報を利用した情報提供アプリの開発とその検証
- 国境地域における異文化の接触と摩擦についての研究
- マイコンを用いた自律型レスキューロボットの製作と研究
- 色素増感太陽電池の作成とその簡易的な作成と実用化に関する研究
- 過飽和酢酸ナトリウム水溶液の核化時間と不純物の関係



# 教員からのメッセージ

## 「近郊農業」とは何？

地歴担当 本木 弘悌



都市の周辺で都市に住む人々のために農産物を作る農業を何というか？「近郊農業！」と小学生も答えることができる問題です。では、「近郊とはどこからですか？」と訊かれると答えられなくなってしまいます。学院では近郊という文字を覚えるのではなく、近郊という「場」を理解するための学習をします。これはとても奥深く、都市とは何であり、周辺とは何であるか。住まう、作るとはどういう事かを考えることです。これらの問いは全て、私たち一人一人と結びついています。近郊には特有の風景があります。地理学ではこれを「景観」と呼びます。普段何気なくみている風景は、人々や自然の営みの積み重ねの結果です。止まって見える風景も動画のように変化しているのです。それを読み解くには、地理や歴史だけでなく、様々な分野の知識とそれらを結びつける思考力が必要であり、その獲得には時間がかかります。学院の授業は、この時間を大切に思っています。

私たちは皆さんに必要な知識と思考力を高めるトレーニングメニューを提供します。景観を巻き戻して見える力、人々の営みを読み解く力をつけましょう。そして、次のシーンが見えるような「未来を洞察する力」を学院で身につけましょう。

## 物理学を勉強して、世界を変えよう

物理担当 小川 慎二郎



それまでになかったような独創的なアイデアによって、世の中の仕組みや私たちの暮らしを大きく変えることを、イノベーションと呼んでいます。そのようなアイデアは、どうやって生まれるのでしょうか？

自動車やスマートフォンのような、目に見える技術の分野だけでなく、インターネットショッピングのようなサービスの分野においても、これまで大きな変革がありました。今後も、政治経済を含めたあらゆる分野で、イノベーションによる大規模な転換が必要とされてきます。

SpaceXやテスラモーターズを起業したイーロン・マスクは、そこで必要となるのが物理学だと強調しています。物理学には、私たちの日常生活の常識からは想像もつかないような考えがたくさんありますが、これらはものごとを原理まで突き詰めて考え、それらを再構成することで得られたものです。このような物理学の方法を学ぶことが、将来にあらゆる分野でイノベーションを起こすための素地となるのです。

高等学院の物理授業では、豊富な実験教材を用いて、実際の現象からどのような法則が得られるのか、理論を使って現実の世界をどのように記述できるのかを学んでいきます。

中学校や高等学校で学ぶ物理学の内容にも、私たちの直感とはかけ離れた理論が多く含まれているかも知れません。それを「自分の知っている世界とは違うものだ」と敬遠するのではなく、「世界を記述する新たな考えを学び、それを使って社会にどう働きかけることができるだろうか」という気持ちで学ぶことで、これからの世界を変えていきましょう。

## Comprehensive and Authentic English Education at Gakuin

English Adam Ezard



Authenticity is the most important concept of the English department at Gakuin. Students are expected to experience and learn from a wide range of sources, including newspaper articles, video, news reports, overseas textbooks and authentic English literature, in order to develop a top-down, as well as a bottom-up understanding of English for our modern, global society. Native English-speaking teachers give classes at all stages of junior and senior high school and students are encouraged to communicate actively in groups and to develop holistic learning strategies, combining skills in listening, speaking, reading and writing, to effectively apply their studies to real-world tasks and activities. Additionally, abundant links are available to the super science and super global programs, as well as other international activities (such as overseas study courses) offered at our school. Active participation in the English program at Gakuin presents students with opportunities to make use of their intercultural understanding and learn to develop as effective, informed and pragmatic communicators, ready to play a leading role in an increasingly global and connected future.

## スポーツの持つ本質的な楽しさを感じよう

保健体育担当 野口 順平



今日、わたしたちを取り巻く生活環境は日々大きく変化しています。交通網の発達をはじめとした利便性の向上、情報化社会の進歩、多様な労働形態などにより便利で快適な生活ができるようになった反面、慢性的な運動不足やストレスの増加につながり、人々の健康を脅かしています。

これらの問題を解決するには、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現することが必要となります。その実現に向けて大切なのは、何よりもスポーツの楽しさを知ることです。スポーツの語源はラテン語のdeportareにさかのぼるとされ、人間の生存に必要な不可欠な事柄から一時的に離れる、すなわち、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶなどを意味しました。

本学院における保健体育の授業は、各種目それぞれを専門とする教員の指導の下、年間を通してじっくりと取り組み、理論と実践を一体化させることによってその種目の持つ本質的な楽しさを理解することができます。これはまさに豊かなスポーツライフの実現に寄与するものです。

完成したばかりの広い人工芝グラウンドをはじめとする充実した体育施設は、スポーツの素晴らしさを享受できる最適な環境です。さあ、わたしたちと一緒にスポーツの持つ本質的な楽しさを感じてみませんか。

# 自分で選び、考え、個性を磨く3年間



## 「学院に来てよかった」という気持ちを学院生全員と共有したい

中央幹事会（生徒会）の幹事長を務めています。幹事長を志したのは、学院が好きだからこそ現状に満足せず、みんなで力を合わせて学院をより輝かせたいと考えたからです。個性豊かな幹事会のメンバーをまとめるのは大変ですが、一人ひとりの性格をきちんと把握し、適切に仕事を割り振るよう努めています。幹事会が主催するイベントもあり、3年生の5月には首都圏から多くの高校生を招いて行う招待討論会を無事に開催することができ、仲間と達成感を分かち合いました。

3年 高橋 岳大



た。以前は何でも自力でこなそうとしましたが、幹事長になり仕事量が増えたことで、一人で抱え込まず周りを頼ることの大切さを学びました。「学院に来てよかった」という気持ちを学院生全員と共有することが、今の一番の目標です。高等学院では、自分の夢を全力で追うことができ、先生や友達もそれを心から応援してくれます。あきらめない心を大切に、夢に向かって走り続けければ、道は自然と開けていくはずですよ。

生徒会・委員会活動

← P.14



## 積み重ねた基礎は必ず実を結ぶことを弓道から学びました

高校入学を機に新しいことを始めたいと考え、弓道部に入りました。日本の伝統的な武道を一度経験してみたかったこと、静寂の中で鳴り響く弓の音や、選手の堂々とした姿など、独特の魅力に引き込まれたことが入部の理由です。ゴム弓を用いた基礎づくりの期間を終えた後、初めて実際に矢を放ち、的に当たった瞬間の喜びは今でもはっきりと覚えています。こつこつと積み上げてきた基礎が、必ず成功に導いてくれることを身を持って学びました。前主将の指名を受けて

3年 平出 大樹



主将になってからは、普段の練習時の雰囲気作りを特に意識し、メリハリのある練習を心がけています。大会時にはプレッシャーも強く感じますが、その分、自分だけでなく仲間が入賞したときの喜びは人一倍です。部活動の経験を通して、努力することの大切さを知り、それを勉強に生かすことで成績も上がりました。好きなことに熱中し努力を重ねた時間は、この先もずっと財産になると思っています。

クラブ活動

← P.16

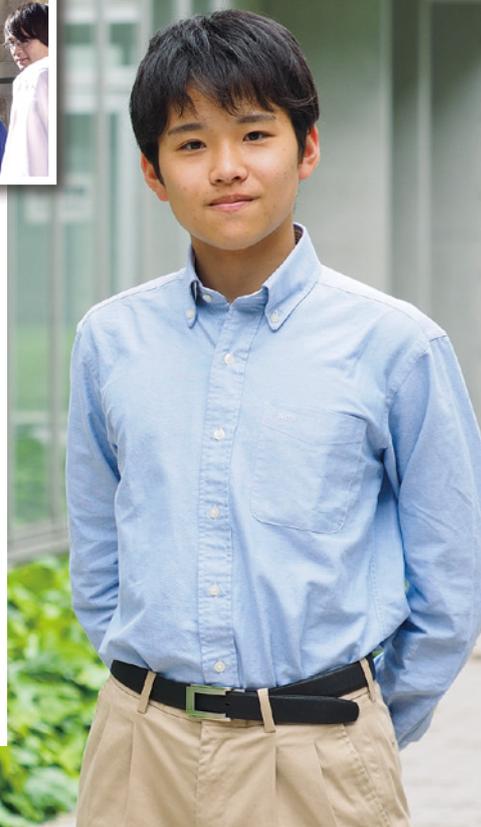
## 海外フィールドワークで 主体的に調査を進め 多文化共生の可能性を探究

2年次にオーストラリアのフィールドワークに参加しました。普段のSGHの活動で多文化共生や移民について学ばなかで、自分の目でもっといろいろなことを見てみたいと思うようになったことが、参加を決めたきっかけです。私はリサーチテーマとして、多文化主義のオーストラリアで、異なる宗教がいかに共存し、また、宗教の違いに配慮した取り組みがなされているのかに着目しました。実際にオーストラリアを訪れ、調査に取り組みましたが、初めは慣れない英語でのコミュ

ニケーションに戸惑いました。それでも積極的に質問を重ねるうちに、上手い下手は抜きにして、意志疎通がとれるようになりました。今回、生まれて初めて海外を訪れて、自分が今まで狭い世界の中にいたことに気づきました。異なる文化に触れ、相対的に日本の文化についても理解が深まったと感じます。3年生の今年はドイツのフィールドワークに挑戦し、多文化共生の可能性をさらに探究したいと思っています。

3年 鈴木 育海

スーパーグローバルハイスクール P.8



## 文系・理系の枠を超えて やりたいことに打ち込める 環境があります

幼い頃から祖父の農作業を手伝うなかで、「ミミズは良い土を作ってくれる働き者だ」と教わりました。ミミズと土壌の関心に興味を持つようになり、SSHの活動では、ミミズの土壌改良能力について化学性、物理性の両面から研究を続けています。ミミズや土壌の採取・分類だけでなく、測定器の開発から一貫して取り組んでいるため、失敗や苦勞も多くありますが、試行錯誤を繰り返して実験が成功したときには苦勞も吹き飛びます。これまで国内外の複数の国際発表会に参加

し、研究成果を英語で発表して、賞を受けることができました。ほかの参加者の発表を見て意見交換をすることで、自分の研究を振り返り、さらに深く研究をしたいという意欲がわきました。文系の私がSSHの活動に熱中してきたように、高等学院には文系・理系の枠を超えて、興味のある分野を自由に探究できる環境と時間があります。たくさんあるチャンスの扉を、自分で選んで開けながら進んでいってください。

3年 松原 健太郎

理系分野での研究活動 P.10



# 主要学校行事



**入学式**  
早稲田大学のシンボルである大隈記念講堂で入学式が行われます。早稲田の時を刻み続ける講堂で歴史を感じながら、「早稲田人」の一人として高等学院生活がスタートします。



**校外活動**  
教室から離れ、仲間や先生と寝起きを共にし、グループワーク・発表や体験学習を行います。



**進路講演会**  
様々な職業のOB(約15名)を招いた講演会です。生徒はいくつかの講演を選択して、お話をうかがい、自身の進路を考える貴重な機会にします。



**オーストラリア海外研修**  
夏休みの3週間、ホームステイをしながら現地の高校に通い、語学研修と国際交流を図ります。



**早慶戦応援**  
伝統の早慶戦。肩を組んで校歌や応援歌を歌うことで、早大の一員として意識が高まります。

4

April

5

May

6

June

7

July

8

August

9

September

## 1学期

- 入学式
- 始業式
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断

- 授業参観・保護者会
- 大学モデル講義・進路講演会・TOEIC/TOEFL(3年生)
- 校外活動(1・2年生 2泊3日)
- 東京六大学野球早慶戦応援(1年生)  
※年により、5月最終週～6月第1週にかけて行われます。

- 学部進学説明会(理工3学部)

- 学期末試験
- 終業式
- 保護者会
- 追試験
- 夏期補講

- オーストラリア海外研修(隔年)

## 2学期

- 始業式
- 特別考査(2・3年生)
- 体育祭
- 学部進学説明会

# さまざまな活動

## ■ 生徒会・委員会活動

高等学院では、自主自立の精神に根差した校風のもと、学院祭や体育祭をはじめとする様々な行事や活動が生徒主体で行われています。それらの準備・運営において中心となって活躍するのが、全校生徒から選挙で選ばれる生徒会役員や、クラスを代表する各種の委員です。生徒会・委員会活動は、将来に役立つリーダーシップや仲間との協働を学ぶ絶好の機会にもなります。

### 生徒会

- 中央幹事会 ▶ 中央幹事長 / 副幹事長 / 書記 / 会計

### 委員会

- 自治委員会
- 学院祭委員会
- 体育祭委員会
- 図書委員会
- 学院雑誌委員会
- 選挙管理委員会
- アルバム委員会



招待討論会(中央幹事会主催)

## 大きな舞台で、どんな風を吹かそうか？

高等学院では、入学直後からさまざまな行事が行われます。  
学院の自由な気風の中、どの行事も生徒主導で行われています。



体育祭

学院祭

毎年10月に2日間にわたり、学院祭委員会が中心となって企画・運営されます。クラス有志やグループ、クラブ活動などの単位で、日ごろの活動の成果を披露します。

学芸発表会

学術・芸術・国際交流の分野における日ごろの取り組みを発表する行事です。SGHやSSHの発表会、卒論発表会、スピーチコンテストなども同時に行われます。

**10**  
October

- 学院祭
- 大学創立記念日 (21日)

**11**  
November

- 学芸発表会

**12**  
December

- 学期末試験
- 終業式
- 保護者会

**1**  
January

### 3学期

- 始業式
- 特別考査 (2・3年生)
- TOEFL (1年生、2年生)
- 自己推薦入学試験

**2**  
February

- 一般入学試験
- TOEIC/TOEFL (3年生)

**3**  
March

- 学年末試験 (1・2年生)
- 終業式
- 卒業式

## プロジェクト活動

生徒が学校内の問題はもちろんのこと、様々な社会的事象にまで問題意識を広げた結果、従来のクラブ活動や生徒会活動の枠に当てはまらないユニークな課外活動が生まれてきました。それが、有志の生徒により行われている様々なプロジェクト活動です。

### 環境プロジェクト

環境問題を身近なところから考え実践していくことを目的としたプロジェクトです。地域清掃や環境フォーラムへの参加、フィールドワーク調査など、多彩な活動に取り組んでいます。

### 模擬裁判プロジェクト

日本弁護士連合会主催の「高校生模擬裁判選手権」への参加や、裁判所見学・裁判所職員へのインタビュー等を通じて、法的知識を身につけ、法理解や司法理解を深めます。

### 教育プロジェクト

将来教員を目指す人、人に教えるのが好きな人が集い活動します。活動は、中学部1、2年生を対象に、週2回質問対応や学習の手伝い等を行い、中学部生が学習の習慣をつけられるよう手助けします。

### 学院×社会連携構想プロジェクト

高等学院の現状に疑問を持った生徒たちが集まり、学院生に刺激を与えるための様々な企画を提案する。「社会」というテーマを掲げ、内から外から学院生にアプローチすることを目指します。



模擬裁判



教育プロジェクト

# クラブ活動

## ■ 体育部門 (28)



### 2015年度の主な活躍

#### クラブ活動

#### 軟式野球部

平成27年度春季東京都高等学校軟式野球大会 準優勝  
平成27年度秋季東京都高等学校軟式野球大会 優勝

#### ヨット部

平成27年度春季東京都大会 優勝

#### ボート部

平成27年度関東高等学校選抜ボート大会東京都予選  
男子舵手付きクワドルプル 準優勝

#### 米式蹴球部

平成27年度春季東京都大会 優勝  
第46回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会東京地区大会 優勝  
第46回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会(クリスマスボール) 準優勝

#### フェンシング部

東京都高等学校フェンシング大会 個人対抗 男子フルーレ 第3位  
東京都高等学校フェンシング大会 個人対抗 男子エペ 第3位

東京都高等学校フェンシング大会 学校対抗 男子 第3位  
国民体育大会 東京都予選 個人対抗 男子フルーレ 第3位(国体代表)

#### 雄弁部

第20回全国中学・高校ディベート選手権大会(ディベート甲子園出場) 全国ベスト8

#### 洋弓部

第41回都高体連アーチェリー選手権大会 優勝

#### 弓道部

東京都個人選手権大会 第3位

#### 水泳部

関東高等学校水泳競技大会 自由形 第3位  
国民体育大会 少年Bの部 男子400Mフリーリレー 優勝  
国民体育大会 少年Bの部 男子50M自由形 第2位

#### 理科部生物班

生物学オリンピック 銅賞

文化部門 (24)



2015年度の主な活躍 各種コンクール

- 2015年度国際ユース作文コンテスト 学校奨励賞
- JSEC 2015 優等賞
- 日本地質学会ジュニア部門 奨励賞
- 日本動物学会 高校生ポスター発表 優秀賞
- 生物学オリンピック本選 銅賞
- SKYSEF2015 (21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム) heat3 優勝
- KYSEF2015 (21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム) 生物多様性審査員特別賞



# 入試概要

## 2017年度入試概要

※詳細は入学試験要項をご覧ください。

### 一般入試

#### 1. 募集人員

第1学年 男子260名(帰国生18名を含む)

※帰国生として出願する場合には、事前に「帰国生出願資格認定申請」が必要。

#### 2. 出願資格

2017年3月中学校を卒業見込みの者、および2016年3月中学校を卒業した者。

#### 3. 入試日程

出願期間	1/25(水)～1/30(月)	郵送受付(締切日消印有効)
試験日	2/11(土・祝)	筆記試験(英語・国語・数学・小論文)
		早稲田大学・早稲田キャンパス
合格者発表日	2/15(水)	発表方法・電話応答システム ・早稲田大学ホームページ
	2/16(木)	入学手続書類の交付(高等学院)
入学手続日	2/17(金)	高等学院

### 自己推薦入試

#### 1. 募集人員

第1学年 男子約100名

#### 2. 出願資格

- ・2017年3月中学校を卒業見込みの者。
- ・高等学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。
- ・中学校3年次第2学期の学期成績が、9教科合計(5段階評価)で40以上の者。
- ・3年間の欠席合計が30日以内の者。

#### 3. 入試日程

出願期間	1/15(日)～1/16(月)	郵送受付(締切日消印有効)
試験日	1/22(日)	面接試験(個人)
		高等学院
合格者発表日	1/23(月)	高等学院構内の掲示
		入学手続書類の交付
入学手続日	1/24(火)	高等学院

### 海外帰国生の受け入れ

高等学院では1988(昭和63)年から帰国生の受け入れを積極的に行っています。異文化における生活を体験した帰国生が、一般生徒と同じクラスで学ぶことで、相互に啓発しあい、より豊かな価値観や人間観を持つことが期待されています。

帰国生枠で一般入学試験を出願する場合には、11月1日(火)～11月30日(水)の期間に「帰国生出願資格認定申請」手続きが必要になります。詳細については、高等学院入試係にお問い合わせください。

※帰国生出願資格認定者の入試日程・内容等は、一般入試(一般出願者)と同一(上記3参照)です。

### 自己推薦入試で求める生徒像

- ①学問・勉学を大切に思い、日々の勉学において自己の進歩や新たな発見に喜びを見いだせる生徒。
- ②自ら興味の対象を持ち、それに打ち込み、学業との両立に積極的に取り組むことのできる生徒。
- ③グループ活動に進んで参加してリーダーシップを発揮できる生徒。

※自己推薦入試で不合格となった場合でも、他の受験生と全く同じ条件で一般入試を受験することができます。

## 入学試験要項(願書)の販売 [1部 600円]

販売開始予定日 2016年10月1日(土)

### 窓口販売

#### 高等学院事務所

平日・土曜/8:30～16:30

※日曜・祝日は取り扱いません。

#### 早稲田大学入学センター(早稲田キャンパス1号館)

平日・土曜/9:00～17:00

※日曜・祝日は取り扱いません。

#### 学校説明会の会場

各回の学校説明会の会場でも販売します。

※各回の日程は裏表紙をご確認ください。

### 郵送販売

下記(1)～(2)の書類等を同封のうえ、(3)請求先宛にご郵送ください。

#### (1)入試要項郵送請求用紙

上記の所定書式(高等学院ホームページ(高校・中学の受験生ページ)掲出のもの)を印刷し、必要事項を記入したものを。

※所定書式を印刷できない場合は、以下の項目(①～④)を明記した用紙。

- ①早稲田大学高等学院 入試要項郵送請求用紙、②送付先の郵便番号・住所・氏名、
- ③電話番号等(日中の連絡先)、④購入を希望する入試要項の区分(中学・高校の別)と部数

#### (2)料金(送料込み)分の郵便小為替

1部購入: 郵便小為替 1,000円分

2部購入: 郵便小為替 1,500円分

※郵便小為替の受取人欄は未記入のこと

#### (3)請求先: 〒161-8520 東京都新宿区中落合1-6-12

早稲田大学高等学院(高校または中学)入試要項係

※郵送は国内に限ります。

※3部以上の購入を希望する場合は、高等学院入試係(03-5991-4151)へお問い合わせください。

※出願締切日に注意の上、余裕をもってご請求ください。

# 統計/学費/奨学金制度

## 各種統計

### 入学試験結果

#### 一般入試

年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
2016	260	1,793	1,411	569	2.48
2015	260	1,819	1,443	565	2.55
2014	260	1,784	1,391	590	2.36

#### 自己推薦入試

年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
2016	100	134	132	100	1.32
2015	100	171	168	102	1.65
2014	100	156	154	100	1.54

#### 出身中学校所在地別の入学者数

年度	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	他府県	外国	合計
2016	289	61	68	46	4	15	483
2015	277	64	63	54	6	25	489
2014	292	63	72	35	2	20	484

※東京都と合計欄には、高等学院中学部からの進学者が(2016年)120名・(2015年)123名・(2014年)123名含まれる。

### 学校概況

生徒数(全学年合計)	1,495
学級数	36クラス(各学年12クラス)

※学級は、第二外国語により編成され、1年次～3年次まで変わりません。

教職員数			校地・施設面積(m <sup>2</sup> )	
教諭 85	講師 103	職員 25	校地 59,945	施設 25,940

※高等学院には、生徒寮(施設)はありません。  
※教職員数、校地・施設面積は中学・高校共通。

## 学費等 (参考：2016年度)

	1年		2年		3年	
	入学時	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	260,000					
授業料	342,000	342,000	366,000	366,000	384,000	384,000
教育環境整備費	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
実験実習料	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
生徒会費	7,000		7,000		7,000	
日本スポーツ振興センター共済掛金	1,500		1,500		1,500	
合計	<b>731,500</b>	<b>463,000</b>	<b>495,500</b>	<b>487,000</b>	<b>513,500</b>	<b>505,000</b>

(単位：円)

## 奨学金制度

大学および高等学院が独自に設置する学内奨学金、地方公共団体による奨学金、民間団体による奨学金があります。特に、学内奨学金は返還不要の給付奨学金です。

### 1. 学内奨学金 (2016年度募集、すべてが返還不要の単年度給付型)

奨学金名称	支給額	対象学年	人数	選考基準
大隈記念奨学金	年額400,000円	2・3年	各学年3名	学業成績を重視
小野梓記念奨学金	年額300,000円	全学年	19名	
校友会給付一般奨学金	年額300,000円	全学年	6名	家計状況を重視
早稲田カード奨学金	年額300,000円	全学年	3名	
早大生協給付奨学金	年額300,000円	全学年	1名	
高等学院奨学金(一般)	年額300,000円	全学年	4名以内	家計急変時 (主たる家計支持者の死亡等)
高等学院奨学金(家計急変)	採用時期により決定	全学年	随時決定	
高等学院同窓会給付奨学金	半期授業料相当額	全学年	随時決定	

### 2. 学外奨学金(地方公共団体・民間団体)

対象・募集時期・金額等は団体により異なります。

2015年採用実績団体数：(地方)4団体(民間)1団体

# 未来への第一歩を ここから

知的好奇心や吸収力が目覚ましく伸びる中学生の時期。  
整った教育環境のなかで自らの興味や関心に沿った学びに  
打ち込むことで、未来への可能性は大きく広がります。  
早稲田大学の一員として育ち、確かな力を身に付ける—  
そんな6年間の学院生活が待っています。



## 早稲田大学高等学院中学部

Waseda University Junior High School

20

## 教育の主旨

国際化、情報化そして少子高齢化が進む21世紀初頭の今日、これからの時代の社会的付託に応えるべく、中等教育を担う学校として早稲田大学では初めてとなる中学校を設置しました。

これにより、後期中等教育を担ってきた高等学院と連携しながら、早稲田大学としての中等教育と高等教育の一貫性を強化、確立します。



## 教育課程

週6日制

教科	第1学年	第2学年	第3学年
国語	6	5	5
社会	4	4	4
数学	5	5	5
理科	4	4	4
音楽	1	1	1
美術	1	1	1
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
英語	5	5	5
道徳	1	1	1
総合的な学習の時間a	1	1	1
総合的な学習の時間b	1	1	1
選択教科a(英語)	0	1	1
選択教科b(諸外国語)	0	0	1
特別活動	1	1	1
合計	35	35	35

※所定の基準を満たし、中学部を卒業すれば高校に進学できます



## 生活時間 (通年)

第1時限	8:30 ~ 9:20
第2時限	9:40 ~ 10:30
第3時限	10:40 ~ 11:30
第4時限	11:40 ~ 12:30
(昼休み)	12:30 ~ 13:10
第5時限	13:10 ~ 14:00
第6時限	14:10 ~ 15:00
学活・清掃	15:05 ~ 15:25
クラブ活動	~17:00*

\*クラブ活動は申請により1時間の延長が認められます。  
\*土曜日は第4時限までとなります。

## 自分の長所を見つけて伸ばせる環境があります。

中央幹事会(生徒会)の幹事長として、学校生活をより良いものにするために活動しています。先輩たちが作り上げた生徒会を更に活発にしていきたいと考えています。様々な議論の中で、自分の視点とは異なる考えに接することで視野が広がり、新たな発見も多くありました。自由な校風のもと、ほかの学校ではなかなか学ぶことができないような専門的な知識も身に付けながら、自分の長所を伸ばしていけるところが高等学院中学部の良さだと思います。



3年 大西 遼



音楽



選択教科 a (CALL教室)



総合学習 b

### 各科教育目標

#### 国語

感性とのバランスを考慮しつつ、知の力の育成に重点を置く。多様な文章の読みを通して、広く知識を習得させるとともに、文意を深く正確に理解する学習を継続して行う。また、書く力を含め、相手とのコミュニケーション能力の向上に力を注ぐ。



#### 音楽

演奏活動(歌唱、器楽アンサンブル)、鑑賞、創作活動を通じて、音楽を愛する豊かな心を養い、表現力や創造力を高めることを目標とする。また和楽器や伝統芸能に触れることで、日本の伝統文化・伝統芸能に対する関心と理解を深めさせたい。



#### 保健体育

発育・発達段階における形態的・機能的変化の大きさに十分に配慮し、健やかな心身の育成を目指す。個人的スポーツ・集団的スポーツ・武道等の実技と体育理論をバランスよく学ぶことで、いわゆる「骨太のワセダマン」としての成長を促していきたい。



#### 数学

小学校での算数の学習を基に、数学における基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指す。また、中学3年間の内容の学習を通して、ものごとを論理的かつ多面的に考え、数理的に考察する力や態度を養うとともに、創造力や発想力を育てることを目的とする。



#### 英語

英語を通じて、外国や自国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。バランスの良いコミュニケーション能力の育成を図り、高校における発展的な学習に必要な基礎力や自主的な学習の姿勢を養う。

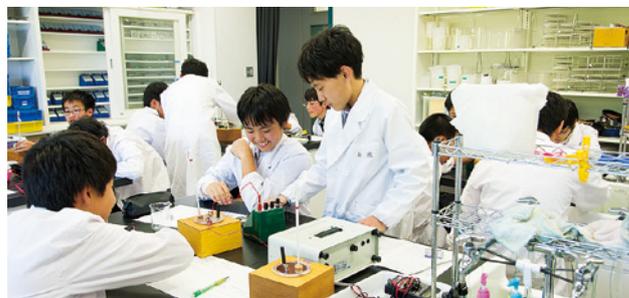


### 研究について

中学部では早くから自分の興味に合った研究を奨励しています。有志を募って団体を設立して学習発表会で発表することや、個人的に研究テーマをもって教員からアドバイスをもらう生徒など様々です。また、同窓会では研究計画を公募して学術研究奨励金により研究活動を支援しています。

#### これまでに採択された同窓会学術研究奨励金の研究課題(抜粋)

- シャープペンシルの芯の構造と強度
- 透明標本についての研究
- レゴマインドストームを使用したオリジナル自立型ロボットの製作
- 模型飛行機の理想的な形状に関する研究
- 低コスト高効率小型発電の開発



- 橋の強度研究による高強度の構造開発
- 漁業被害を及ぼす海洋生物についての研究
- 硝酸カリウムの電気分解とアンモニアの発生について
- ユークリッド原論に関する研究

## 社会

現代の社会が抱える諸課題に主体的に取り組むために批判的思考力の涵養を目的とする。社会3分野をバランスよく学ばせ、校外学習などを通して社会との接点を多様に設け、高校・大学へつながる基礎的な学力と教養を身につけさせる。



## 理科

高等学院創設以来の伝統である実験・観察を重視しながら、考える力を養う。さらに高校進学後の学習への架け橋となるように内容をよく吟味し履修させる。そのために授業は専門性の高い教員が担当する。



## 技術家庭

技術分野では、ものづくりとしての材料加工および情報技術だけでなく、生物育成とエネルギーに関する技術の学習指導を行う。家庭分野では、生活の自立に必要な知識や技術を習得し、様々な社会の変化に主体的に対応できる力の育成を目指す。



## 美術

絵画や彫刻、デザインや工芸などの表現活動を通じて、材料や用具の生かし方、用途や機能を踏まえた表現技能の習得を目指す。また表現することの喜びを味わうとともに、美術を愛好する心情の育成・豊かな情操を養うことを目標とする。



## 総合的な学習の時間・選択教科

早稲田大学に関わる事柄をはじめ、教科の枠をこえた課題について、調査・研究し、成果をまとめて発表できるよう指導する。また、英語を中心として、高校で授業がおこなわれている諸外国語圏の文化・歴史・言語などについて学ぶ機会をつくる。



## オーストラリア研修

### 海外研修を通して異なる文化に肌で触れ、視野が広がりました

2年次に希望してオーストラリア研修に参加しました。事前学習では、オーストラリアで広く信仰されているキリスト教のことや、先住民アボリジニについて調べました。カトリックの厳正な教えが人々の生活や考え方に深く関わっていると知り、日本とは違う文化に触れてみたいという思いがより強くなりました。オーストラリア滞在中は、現地の学校を訪問し、互いの国の文化や食べ物などを紹介し合い交流しました。現地で人気の高いクリケットというスポーツを授業で体験できたことも印象に残っています。ホームステイ先の家族と英語でコミュニケーションをとるのは大変でしたが、家の中でも

靴をはいて過ごすことや、お風呂はシャワーだけですませる場合が多いことなど、生活習慣の違いを肌で感じることができました。研修を通じて日本とはまったく異なる文化を知ることができ、物事に対する考えが広がったと感じます。英語を自分から使おうという意識が身についたことも大きな変化で、ホストブラザーとは今でも英語で連絡をとっています。高校に進学後もさまざまなプロジェクトに積極的に参加し、さらなる学びや発見をしていきたいと思っています。

3年 富塚 友一郎



# 主要学校行事



入学式



東京六大学野球早慶戦応援



オーストラリア研修



生徒総会



体育祭(棒引き)



オーストラリア研修

4  
April

5  
May

6  
June

7  
July

8  
August

9  
September

## 1学期

- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション  
合宿 (1年生)
- 情報モラル教室

- 生徒総会
- 体育祭
- 東京六大学野球  
早慶戦応援
- 中間試験

- 芸術鑑賞教室
- アウトリーチ  
プログラム(2・3年生)

- 期末試験
- 面談
- 終業式

- オーストラリア研修  
(2・3年生、希望制)

## 2学期

- 始業式
- 早稲田大学  
キャンパスツアー
- 校外学習

# 宿泊研修・学習発表会

宿泊研修の事前学習は、総合的な学習の時間を使って行います。生徒たちはグループに分かれて研修テーマを決め、事前調査を行い、自主研修の綿密なスケジュールを作成します。宿泊研修中は事前学習の成果を検証し、現地ではなければ得られない発見や感動を持ち帰り、その成果をまとめて学習発表会でプレゼンテーションやポスターセッションなどで発表します。

## 1年生 オリエンテーション合宿

- 1日目 バスで移動、開校式、植林活動、クラス別活動
- 2日目 ほうとう作り、イニシアティブゲーム、クラス別活動
- 3日目 ネイチャーツアー、バスで帰京



## 1年生 奈良研修 (2泊3日)

- 1日目 新幹線で移動、法隆寺、中宮寺、薬師寺、唐招提寺見学
- 2日目 グループ別自主研修、法話
- 3日目 東大寺、興福寺見学、新幹線で帰京



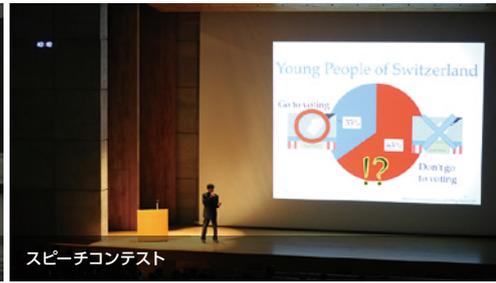
## 2年生 長野研修 (2泊3日)

- 1日目 バスで移動、入村式、ホームステイ先で活動
- 2日目 茶臼山トレッキング、棚田で稲刈り体験、ホームステイ先で活動
- 3日目 ホームステイ先で活動、退村式、バスで帰京





学習発表会



スピーチコンテスト



音楽祭



キャンパスツアー



早稲田大学の留学生による授業(アウトリーチプログラム)



卒業式

**10**  
October

- 宿泊研修  
1年生：奈良  
2年生：長野  
3年生：長崎・佐賀
- 中間試験

**11**  
November

- アウトリーチプログラム(1年生)
- 学習発表会

**12**  
December

- 期末試験
- 面談
- 終業式

**1**  
January

3学期

- 始業式

**2**  
February

- 中学部入学試験
- 音楽祭
- スピーチコンテスト

**3**  
March

- 学年末試験
- 面談
- 終業式
- 卒業式

### 3年生 長崎・佐賀研修 (3泊4日)

- 1日目 飛行機で移動、被爆体験講話、原爆史蹟巡り、資料館見学
- 2日目 グループ別自主研修
- 3日目 テーマ別自主研修
- 4日目 大隈重信生家、大隈記念館見学、飛行機で帰京



## 校外学習

9月に行う校外学習は、各学年が企画して実施します。中学3年では教員指導のもと生徒たちが研修に相応しい場所を選び、研修内容を企画し、実施しています。

### これまでに行った校外活動 (抜粋)

- 上野科学館・博物館 (班別研修)
- 鎌倉 (班別自主研修)
- 日本科学未来館 (班別研修)
- 葛西臨海公園・水族館 (班別研修)
- 川越 (班別自主研修)
- 上野・浅草 (班別自主研修)

## 学習発表会

学習発表会では、通常授業の学習成果の発表やクラブ活動の発表、有志団体の発表も行っています。



# クラブ活動

## 運動部 (5)



野球部



サッカー部



剣道部



バレーボール部



バスケットボール部

### これまでの生徒の主な活躍

- ・サッカー部…練馬区春季サッカー大会優勝、都大会出場
- ・野球部…練馬区大会第3位、都大会出場、石泉地区大会準優勝
- ・剣道部…都大会出場
- ・「日本語大賞」中学の部…文部科学大臣賞
- ・「もっと明鏡」大賞 みんなで作ろう国語辞典…最優秀作品賞、最優秀学校賞
- ・「お金の作文」コンクール…秀作
- ・地球にやさしい作文・活動コンテスト 中学の部 作文・活動部門…優秀賞、学校賞
- ・国立科学博物館主催植物画コンクール…佳作
- ・日本物理学会 Jr.セッション…審査員特別賞
- ・小田原白梅ライオンズクラブ 早稲田大学科学 コンテスト中学の部…優秀賞
- ・クエストカップ全国大会…優秀賞
- ・早稲田大学アプリケーションプログラムコンテスト 早稲田大学産学官研究推進センター主催 ゼンリンデータコム共催…優秀賞
- ・CENGAGE Learning ジュニア読書大会 日本語感想部門…準優勝
- ・中学生の税についての作文…練馬西税務署長賞
- ・新技術開発財団主催市村アイデア賞…市村アイデア記念賞
- ・読書感想文コンクール 「わたしの漱石、わたしの一行」中学生の部…佳作
- ・全国「図書館を使った調べる学習コンクール」中学生の部…佳作
- ・産経新聞社主催 約束 (プロミス) エッセイ大賞…佳作、学校賞
- ・英語検定…優秀団体賞



## 文化部 (6)



語学部



理科部



グリークラブ



吹奏楽部



鉄道研究部



コンピュータ研究部

## 大学との関わり

### キャンパスツアー

早稲田大学への進学先(学部)を選択する上で必要な知識を早い段階から得るために、一般的には高校在学中に行うキャンパスツアーを、中学部在学中に行っています。1年生は早稲田(本部)キャンパス、2年生は所沢キャンパス、3年生は西早稲田(理工)キャンパスを見学し、各学部の説明や施設・研究室の紹介をしてもらいます。

### アウトリーチプログラム

早稲田大学の留学生が各クラスに来て、出身国について文化や言語などの授業を行います。世界各国の事情を知るとともに、国際意識が高まります。



# 入試概要 / 統計 / 学費

## 2017年度入試概要

※詳細は入学試験要項をご覧ください。

### 一般入試

#### 1. 募集人員

第1学年 男子120名

#### 2. 出願資格

2017年3月小学校を卒業見込みの者。

#### 3. 入試日程

出願期間	1/20(金)～1/21(土)	郵送受付(締切日消印有効)
試験日	2/1(水)	筆記試験(国語・100点、算数・100点、 社会・80点、理科・80点) 面接(本人のみ、グループ) 高等学院
合格者発表日	2/3(金)	高等学院構内の掲示 入学手続書類の交付
入学手続日	2/4(土)	高等学院

### 入学試験要項(願書)の販売 [1部 600円]

販売開始予定日 2016年10月1日(土)

※入学試験要項(願書)の入手方法は、P.18をご覧ください。



学校菜園(校内)

## 各種統計

### 入学試験結果

#### 一般入試

年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
2016	120	376	347	134	2.59
2015	120	408	376	144	2.61
2014	120	410	386	136	2.84
2013	120	352	331	138	2.40
2012	120	472	441	136	3.24



#### 出身小学校所在地別の入学者数

年度	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	他府県	外国	合計
2016	99	13	3	8	0	1	124
2015	94	13	7	7	2	0	123
2014	96	14	6	6	0	0	122
2013	92	13	9	6	2	0	122
2012	84	22	8	8	2	0	124

### 学校概況

生徒数(全学年)	366
学級数	12クラス(各学年4クラス)

※教職員数および校地・施設面積(中学・高校共通)は、P.19に掲載。

## 学費等 (参考: 2016年度)

	1年		2年		3年	
	入学時	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	260,000					
授業料	427,500	427,500	457,500	457,500	480,000	480,000
教育環境整備費	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500	142,500
実験実習料	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
生徒会費	7,000		7,000		7,000	
日本スポーツ振興センター共済掛金	500		500		500	
合計	844,500	577,000	614,500	607,000	637,000	629,500

(単位:円)

# キャンパスマップ

武蔵野の面影を色濃く残すキャンパス。  
緑と光が6年間のステージを照らすー



北グラウンド

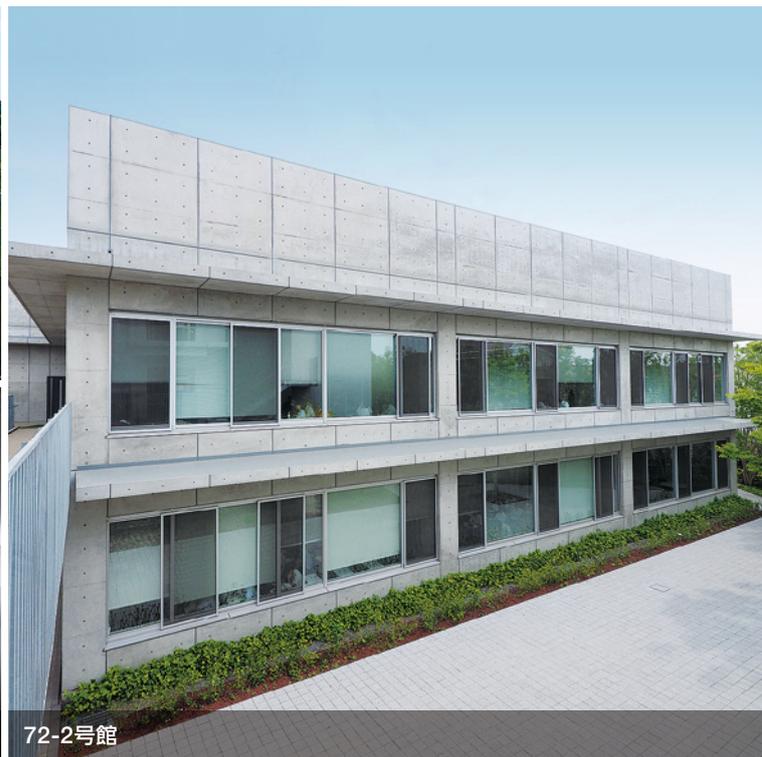
2015年4月全てのグラウンドが最新のロングパイル人工芝化され、体育の授業や放課後のクラブ活動で利用しています。



センターグラウンド



70号館 1階



72-2号館



ゴルフ練習場



西グラウンド・陸上レーン



第一体育館



食堂



講堂

2014年3月に完成した講堂で、卒業式などの様々な学校行事、教育活動に利用できる椅子席1500席を完備しています。この講堂棟には、ほかに音楽教室などもあります。



CALL 教室

コンピュータやAV 機器等を駆使した語学学習支援のための教室が3室あります。

## エコの取り組みと災害時の備え

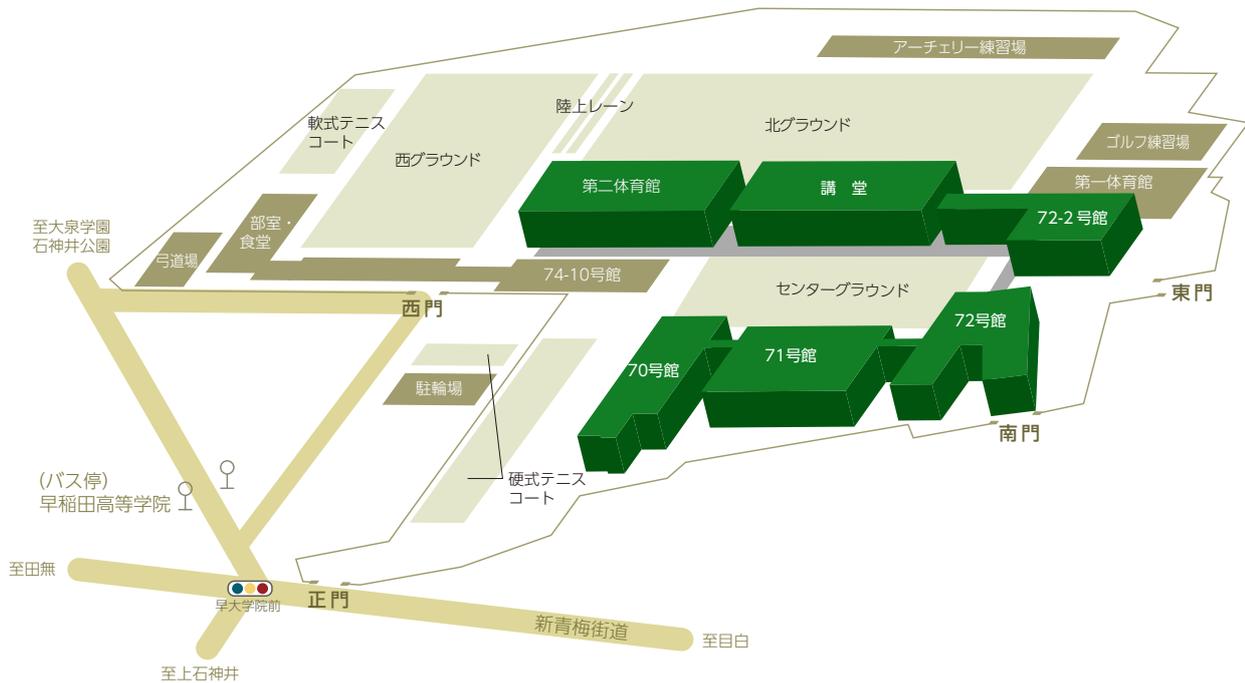
校舎の屋上には太陽光発電パネルが設置され、学院内で使用する電力の一部を賅っているほか、空調システムや温水器にも太陽熱エネルギーが利用されています。また、非常用としてディーゼル発電機を備え、備蓄庫には3日分の食料・飲料水・毛布等を常備。学校からご家庭への緊急情報連絡システムも整えています。



ソーラーシステム



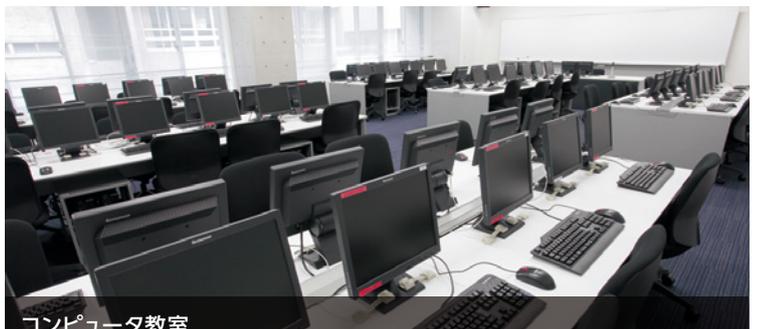
備蓄庫 (第二体育館)



軟式テニスコート



フィットネスルーム(第二体育館)

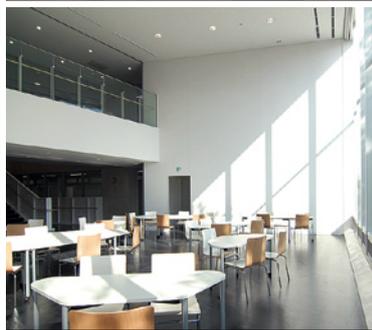


コンピュータ教室

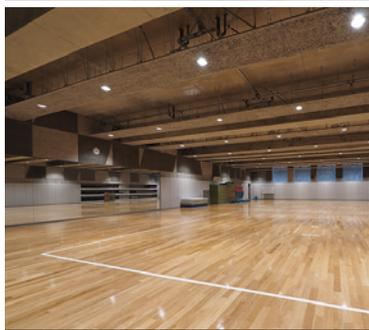
早稲田大学と同じ環境のコンピュータ教室が3室(各室50台)あります。



小講堂



ラウンジ



武道場(第二体育館)



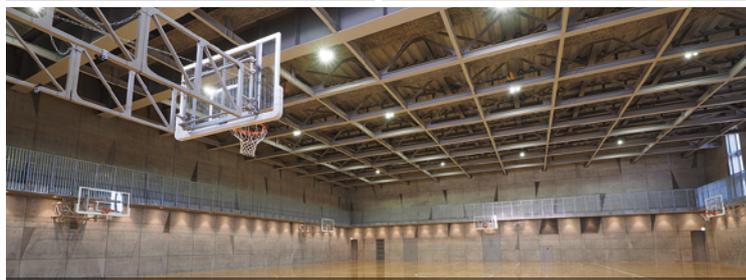
図書室

蔵書数約12万冊、雑誌・新聞約70誌、DVD・CD等の視聴覚資料3,500点を擁します。



HR教室

マルチメディア対応のAV機器が常設され、授業等で活用されています。



メインアリーナ(第二体育館)

2014年8月に完成した総合体育館。バスケットボールや卓球等を行うメインアリーナ、武道場、フィットネスルームの他に、部室や震災に備えた備蓄庫があります。



理科実験室

高校に化学・生物・物理・地学で6つの実験室、中学に第1分野・第2分野で2つの実験室があります。

# 学校説明会

会場：高等学院講堂（上石神井）

予約不要、上履き不要。各回の説明会終了後に、施設見学・個別質問会を予定しております。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

高校	2016年10月1日(土)	14:00～15:30
	2016年10月2日(日)	14:00～15:30
	2016年11月20日(日)	14:00～15:30

中学	2016年6月26日(日)	10:00～11:20
	2016年10月2日(日)	10:00～11:20
	2016年11月20日(日)	10:00～11:20

## 公開行事

各行事の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

**高校 学院祭**  
2016年10月8日(土)・9日(日) 10:00～16:00 (入場は15:00まで)

**高校 学芸発表会**  
2016年11月12日(土) 9:00～13:00

**中学 学習発表会**  
2016年11月12日(土) 午後  
※詳細は10月中旬にウェブサイトに掲載します。

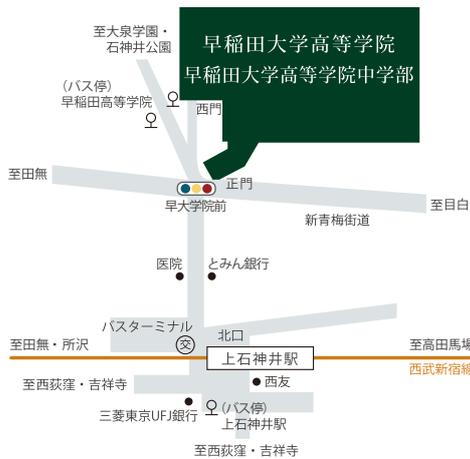
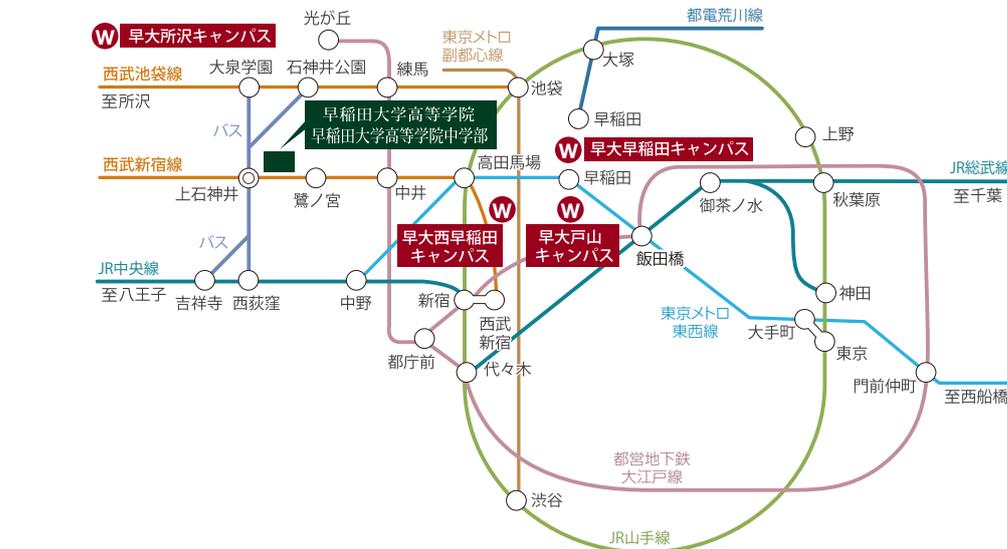
## 学校見学

見学可能日時に、校舎・施設の外観をご覧いただくことができます(授業はご覧になれません)。

見学希望の方は、ウェブサイトで見学可能日時等を確認いただいた上で、ご来校ください。

※防犯上の観点等から、教室や施設内をご見学いただくことはできません。

## アクセス



**電車**  
西武新宿線 上石神井駅(北口より 徒歩7分)  
※JR山手線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」で西武新宿線に乗り換え  
「上石神井駅」までの所要時間(急行・準急)約12分(各駅停車)約22分

**バス**  
西武池袋線  
・大泉学園駅南口より 上石神井駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)  
西荻窪駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)  
・石神井公園駅北口より 吉祥寺駅行き 約20分(早稲田高等学院 下車)  
JR中央線  
・西荻窪駅北口より 大泉学園南口行き 約20分(早稲田高等学院 下車)  
上石神井駅行き 約15分(終点下車徒歩7分)  
・吉祥寺駅北口より 成増町行き 約25分(早稲田高等学院 下車)



早稲田大学高等学院



早稲田大学高等学院中学部

